

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

加工用ばれいしょの栽培適応性実証

芦北地域では、令和2年7月豪雨で被害を受けた芦北東部地区を中心に、復旧・復興の一環として水田の裏作に導入可能な品目として、県内に(株)湖池屋のポテトチップス工場ができたことから、加工用ばれいしょの産地化に向けた検討を行っています。

令和3年度は管内3地域、4ほ場で1～2月にポテトチップス向けの3品種を植え付け、調査を実施しました。目立った病害虫の発生や霜害もなく順調に生育し、5月下旬から6月に収穫時期を迎えました。収量も問題なく、(株)湖池屋での加工適性試験でも概ね良好な結果でした。また、6月には、芦北町立佐敷小学校4年生を招いて、食育を兼ねた収穫体験を行いました。

令和4年度は、管内5地域に栽培地域を拡大し、栽培の早進化の検討、植付や収穫作業等の機械化実証を行うとともに、収益性を検討し、産地化の可能性を高めるための課題解決に取り組む予定です。



小学生の収穫体験



機械化実証現地検討会